



在宅医療連携拠点事業推進協議会 3年間の取り組み②

今回は、仲田永造会長に、在宅医療を支える仕組みづくりについて、お聞きしました。現在、高梁市では、医療・介護関係者間でITによる患者情報の共有ツール「晴れやかネット拡張機能」の運用を開始しています。

今までは、在宅生活に必要な、介護サービスや体調の変化といった情報は、口頭や電話、あるいは書類でやり取りをしていたため、どうしても時間がかかっていました。しかし、「晴れやかネット拡張機能」は、専用の回線で結ばれているため、必要な情報をタイムリーに共有することができます。また、動画や画像を送ることも可能となりました。



この「晴れやかネット拡張機能」の運用を、医療・介護関係者で検討を重ね、患者さんの療養生活に、より有効に活用できるよう取り組みました。

また、高梁地域での入退院支援ルールも検討しました。このルール作成の中で、入院時から退院後の在宅生活を見据えた支援に取り組むことを、多職種で共有できたことも成果の一つであるとのことでした。

在宅医療を選択した患者さんに対して、今まで以上に迅速な情報共有と、質の高い支援が行われていることを知ることができました。高梁市で安心して在宅医療を選択できるように、多職種で連携していることを改めて実感しました。

次回は、高梁市の在宅医療の展望についてお聞きします。

文責 岡崎 幸友准教授(吉備国際大学社会福祉学科)

☎ 保険課連携推進係 ☎21-0304

功績をたたえて

高齢者叙勲



〔旭日単光章〕
元川上町議会議員
山本 清明さん(88)
(川上町七地)

「このような栄に浴し、大変恐縮しています。ほ場整備や県道の拡張など、生活基盤の整備に取り組みました。総合学習センターや幼稚園の建設では、先進地を視察し、より良いものになるように努めました」と在職時を振り返ります。

昭和57年、地域住民に推されて川上町議会議員に当選。3期12年にわたり地方自治の確立と地域社会の発展に尽力され、町議会において、議長などの要職を歴任されました。

栄光をたたえます

■全日本高等学校女子サッカー選手権大会 岡山県高梁日新高校女子サッカー部

(1月3日〜10日・兵庫県)



「2回目の全国大会出場で、昨年の悔しい結果を塗り替えようと1回戦突破を目標に戦いました。結果は福井工大福井高校に1-3で負けてしまい、自分たちが立てた目標を達成することができませんでしたが、たくさんの応援で、最後まで高梁日新高校らしくプレーでき、試合終了間際に1点取り返すことができました。今回の全国の経験を活かし後輩たちには次につなげてもらいたいです。これからも高梁日新高校女子サッカー部をよろしく願います。応援して下さった皆さん、本当にありがとうございました」とキャプテンの門田さん。

- 山川 莉々加さん(監督) 石田 明日香さん(3年) 田辺 絢加さん(2年)
- 菅原 未紗さん(1年) 松永 美空さん(3年) 岡本 留奈さん(3年)
- 門田 伽菜さん(3年) 榎村 かな子さん(3年) 門脇 凪沙さん(2年)
- 網谷 咲耶香さん(3年) 宮本 果栄さん(2年) 松葉 愛子さん(1年)
- 坂田 風子さん(3年) 塩田 満彩さん(2年) 田中 遥奈さん(1年)
- 影山 純花さん(2年) 中其 優衣さん(1年) 藤木 亜美さん(1年)
- 三宅 結子さん(3年) 中田 弥玖さん(2年) 村岡 風香さん(1年)
- 森分 沙耶さん(3年) 中野 紫音さん(1年) 石野 みさきさん(1年)

■アジア国際子ども映画祭(11月28日・北海道) 高梁北中学校



- 横見 智紀君(3年)
- 山下 涉君(3年)
- 笹田 千聖君(3年)
- 宮田 清真君(3年)
- 津嶋 奎多君(3年)
- 伊達 恋楓さん(2年)
- 久嶋 和菜さん(2年)
- 山口 沙也加さん(2年)
- 内藤 葉月さん(2年)
- 塩田 なつきさん(2年)
- 松平 優さん(2年)

「2、3年の有志で参加した中国ブロック大会で、出品した2作が大賞と優秀賞を受賞し、国際大会に出場できました。国際大会では、上位入賞は逃してしまいましたが、各国の作品を見てとても刺激を受けました。全員が初めての活動で、演技や撮影の仕方が分かりませんでした。先生のアドバイスで演技やアングルなどを工夫し、考えて撮影することができました。今後も、高梁北中学校の新たな伝統として後輩たちに受け継いでほしいと思います」と代表の横見君と技術担当の津嶋君。

■全日本9人制バレーボール総合男子選手権大会 (11月20日〜22日・大阪府) 渡邊 貴洋さん(落合町阿部) おかやま所属



「2回戦敗退という結果になり、やはり実業団との差はかなりありました。その差が少しでも縮まるように今年も頑張りますので、応援よろしくお願いします」

協力隊がゆく⑪

高梁市の充実した子育て・定住支援制度を分かりやすく紹介する、市制作のテレビドラマ「さくらとあゆ」高梁で生まれた私の物語」が放送準備中です。実はこのドラマ、僕も制作委員会の一員として関わっています、話の大筋というか、シナリオ案を考えさせてもらいました。各話の脚本も書かせてもらいましたが、こちらは僕の手を離れた後、ドラマ制作委員会による修正が入り、さらに撮影現場でもいろいろ演出に手が加えられたと聞いています。



長谷川竜人隊員(宇治地域)

と、僕はドラマがどんな映像に仕上がっているのか、どのような結末を迎えるのか知りません。これはとても面白いことで、自分の考えた話が、多くの方の手を通じてどのような進化を果たしているのか、期待と好奇心の混じったような楽しさがあります。

1話30分、全5話のうち、最初の方だけ少し見せてもらいましたが、とても素晴らしい作品に仕上がっていると感じました。ドラマは吉備ケーブルテレビで2月17日(水)から放送予定とのことです。僕も一応「原作者」としてクレジットに載りますが、一視聴者の立場で、放送を楽しみに待っています。(あと、こっそり脇役で出演もしています)



ドラマ「さくらとあゆ」から、長谷川隊員の出演シーン

自分の脚本が変わってしまったって残念な気持ち？ そんなのありませんよ。脚本を書いて渡すまでが僕の仕事ですから、その後のことは知りません。いいんじゃないですか。良くなったんだし。知りませんよ。知らないって。つまり何が言いたいかという